

# 各種学力調査等結果を活用した授業改善に関する協議会

## 第2回地域授業改善協議会

令和4年7月12日

日田教育事務所

### ○目的

日田管内の各小・中学校の研究主任に対して、各種学力調査等結果の分析に基づく授業改善についての説明・協議を通して、各学校における組織的な授業改善の推進に資する。

### 【当日の流れ】

①「R3各種学力調査結果等の分析に基づく授業改善のポイント」について説明

②持参した協議用資料と説明を基にグループ協議

※算数・数学→理科→国語の順に①②を繰り返す



### 算数・数学

- 調査問題結果を分析する
  - ・課題のある領域や資質・能力を把握する
- 質問紙調査結果を分析する
  - ・具体的な学習活動の改善につなげる
- 解答類型に基づき、個に応じた指導の手立てを工夫する
- 「数学的な表現を用いて説明(記述)する力」を育成する授業づくり
  - ・単元構想・単元計画に役立てる

### 理科

- 小学校は、学年ごとの「問題解決の力」を重視する
- 中学校は、学年ごとの「探究の学習過程」を重視する
- 「理科の見方・考え方」を働かせて、資質・能力を育成する
- 主体的・対話的で深い学びの留意点
  - ・「内容知」重視から「方法知」重視へ
  - ・子どもの発言、記述の丁寧な分析
  - ・必要感・必然性のある話し合い
  - ・学習と日常生活をつなぐ振り返り
  - ・過去・現在・未来をつなぐ振り返り
- 単元構想を大切に

### 国語

- 学力等調査の目的を確認する
- 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力は
  - ・言葉による見方考え方を働かせ
  - ・言語活動に取り組むことでまとまりのある時間をかけて育まれる
- 授業改善の要は単元構想にある
  - ・学力調査等結果から課題のある言語能力(指導事項)を把握する
  - ・その言語能力(指導事項)を育成する単元を構想する
  - ・学習指導要領を参考に、単元で取り上げる指導事項を確認し、単元の目標や評価規準を設定する



◆なぜ、「単元構想」が重要なのか？



・育成を目指す資質・能力は、児童生徒自身の学びを通して、時間をかけて育成されるものです。  
・その時間(内容)のまとまりが単元(題材)になります。

